

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書			
業 務	分 類	項番	要求仕様
システム全般	システム全般	1	水道、下水道、ガスの統合管理が可能であること。また水道のみ、下水道のみ、ガスのみの管理も可能であること。
		2	水道、下水道は毎月検針で毎月調定、ガスは毎月検針で毎月調定が可能であること。
		3	ガスの料金算定にかかわる契約は「一般料金契約」の他に「家庭用温水暖房契約」「小型空調契約」「空調夏期契約」「家庭用コージェネレーションシステム契約」「小規模コージェネレーションシステム契約」「融雪契約」「業務用契約」「時間帯別B契約」及び「大口供給契約」に対応していること。
		4	年度管理は西暦・和暦のどちらでも対応できること。また元号の変更が生じた場合、対応ができること。
		5	キーコードは「お客さま番号」とすること。
	インボイス制度	6	企業団が指定する帳票のインボイス制度の対応ができること。 対象帳票:検針のお知らせ票・水道使用量等のお知らせ・水道料金等精算のお知らせ・納入通知書・料金変更のお知らせ 他
共通仕様	セキュリティ	7	担当者ごとにログインID、パスワードを設定できること。
		8	システム利用者権限によって表示メニューを絞り込み表示すること。また、メニュー名称及び配置については、プログラムを変更することなく設定できること。
		9	詳細ログを管理でき、全てのログは、一覧表に出力できること。一覧表には、日時、担当者、パソコン名、処理名、押下したボタン名、操作対象のお客さま番号、使用者名が表示されていること。
		10	収納履歴の更新ログは、お客さま番号、調定年月、収納回数、領収日、収納日、収納額、金融機関コード、支店コードなど詳細情報がリスト上に表示されること。
	共通仕様	11	Excel出力が全画面・帳票ででき、全帳票がPDF出力できること。
		12	一度印刷した帳票は、全て再印刷できること。
		13	使用者向けに発行する帳票(納付書等)は、印刷と同時に発行履歴が自動作成されること。
		14	問合せ画面で、一覧表示により発行履歴が確認できること。
		15	発行履歴一覧表を印刷できること。また検索条件を指定できること。
		16	発行履歴の削除等のメンテナンスができること。抽出条件として、発行管理番号、お客さま番号等で抽出できること。
	操作	17	マルチタスクに対応しており、同一水栓データでなければ、入力・更新・参照を問わずに、複数の画面、帳票を同時に使用できること。
	検索	18	検索したい項目を複数項目の組み合わせを含め任意指定できること。
		19	完全一致・前方一致・あいまい検索ができること。
		20	各種メモ情報に登録されている文字から検索することができること。
	チェック	21	主要な更新処理の実行時は、エラー有無のチェックを行い、エラー対象データは全て履歴として保持されること。
		22	エラーリストは日付(範囲)、担当者で検索できること。
		23	必須項目の入力漏れ時は、保存・更新時にメッセージが通知されること。
		24	コードの入力値が、マスタに登録されていない場合は、保存・更新前にメッセージが通知されること。
	その他	25	企業長の交代時にも納付書等、使用者向け帳票の企業長名・職務代行者名の変更設定がシステム上で可能なこと。
		26	時効の年数を水道・下水道・ガスごとに設定できること。
スケジュール管理	スケジュール管理	27	メインメニュー上のカレンダー機能で、予定概要を把握できること。カレンダー上の予定概要は、所属ごとに切替え表示できること。
		28	以下の項目について管理ができること。 ・定例・各種業務スケジュール (検針データ作成日、調定計上予定日、納付書発行日、口座振替日、納入期限日、督促状発行日、督促状納入期限日等)
		29	スケジュール管理用の詳細カレンダーを表示できること。 (月・日別に切替表示・前年・前月・次年・次月へ移動可能)
		30	詳細カレンダー上から、閉開栓受付一覧表、お客さまの予定・約束一覧表・名義変更チェックリストを印刷できること。なお、お客さまの予定・約束一覧表については、過去履歴の対応済みデータも印刷できること。
問合せ／窓口業務	問合せ／窓口業務	31	問合せに必要な全ての情報が容易に表示できること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書

業 務	分 類	項番	要求仕様
		32	問合せ画面に表示中の使用者に対して、入力・更新・帳票など必要なプログラムの連動起動ができること。
	問合せ(施設情報)	33	以下の項目について管理できること。 ・使用者情報 ・所有者情報 ・送付先情報 ・使用者の収納情報 ・検針情報 ・各種発行情報 ・水道情報 ・下水道情報 ・ガス情報 ・メーター情報 ・メーター交換情報
		34	使用者、所有者、管理人、送付先情報は、全て同一の個人マスタ上で管理でき、個人情報を複数管理しなければいけないようなことがないこと。
	問合せ(使用実績情報)	35	使用実績情報は、使用場所に対する全ての実績と、使用者単位の実績を切り分けて確認できること。
		36	使用者単位で確認する場合は、前使用者・後使用者を切替え表示できること。
		37	使用実績情報は、画面一覧で確認ができること。
		38	使用実績は、請求月単位で全てのデータを確認できること。
		39	実績一覧の表示項目には、請求月ごとに検針時の異常区分、検針員から事務局へのメッセージ、指針訂正理由、認定区分を表示できること。
		40	実績一覧は、調定更正・充当／還付・実績メモが確認できること。
		41	充当結果、還付結果などの詳細情報を確認できること。
		42	実績情報の詳細情報を確認できる画面が用意されていること。
		43	実績情報は、調定情報の詳細な経緯を確認できる画面が用意されていること。※ガスも含める。
		44	使用水量、ガス使用量を「月別」、「年度別」にグラフ表示で確認できること。
		45	検針情報入力後、同時に使用実績にも検針結果が表示されていること。
	問合せ(異動情報)	46	最新のメーター情報(水道・下水道・ガス)が確認できること。
		47	異動情報は、異動前後の全ての内容が容易に確認できること。
		48	異動履歴は、手入力による新規登録・修正もできること。
	問合せ(誓約情報)	49	誓約時の納入計画・収納情報(納付払い、口座払い等)、送付先情報を確認できること。
		50	誓約情報は、誓約対象の請求月・支払計画・収納状況の全てを画面一覧で確認できること。
	問合せ(未納状況)	51	未納状況は、納入期限日ごとに一覧表示されており、且つ水道料金・下水道使用料・ガス料金等の内訳を件数・金額で確認できること。
		52	未納一覧は、使用者に対する全ての未納月の明細が表示されていること。
		53	未納一覧上で納入期限日を超過しているものが区別できること。
		54	未納一覧上で複数選択した未納額の加算結果を画面上で確認できること。この時、水道・下水道・ガスの内訳と合計額が確認できること。
		55	表示中の使用者が他の施設で未納があるかどうかを確認できること。
	問合せ(領収履歴)	56	領収一覧は、お客さまの支払い経緯が明確に分かるよう「いつ・どこで・何件で・いくら領収したのか」が把握できること。
		57	領収一覧上でお客さまが支払った未納が複数月に跨る場合、その範囲が把握できるよう表示されること(誓約等による内入れの場合等)。
	問合せ(発行履歴)	58	発行履歴を詳細に確認できること。
	問合せ(対応履歴)	59	対応履歴の予定(約束)・結果を確認できること。
		60	対応履歴は、滞納関連・施設関連・その他など分類を分けて管理できること。
	問合せ(その他)	61	問合せ画面を起動する際、開栓・閉栓・名義変更の予約受付が登録されている場合は、内容が表示されること。
		62	問合せ画面を起動する際、DVや生活困窮者等、重要なメモ情報などが登録されている場合は、内容が表示されること。
		63	問合せ画面上で、「特記事項」(オートロックやカギ必要等)が確認できること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書

業 務	分 類	項番	要求仕様
	窓口領収対応	64	納付書のバーコードをタッチスキナで読み込むことで窓口領収画面／または問合せ画面を連動起動できること。
		65	納付書は、請求月単位と複数請求月をまとめた印刷にも対応できること。
		66	お客さま予定(約束)がある場合は、画面上で確認しながら領収対応できること。
		67	お客さま予定(約束)は、画面上で確認できるだけではなくその結果も反映できること。
		68	未納明細は、一部入金があった場合、残未納額・調定額を切替表示できること。
		69	窓口で分納誓約を締結した場合、支払計画対象の全ての分納納付書を印刷できること。
	ファイリング機能	70	開栓届、閉栓届、名義変更届、誓約書等について、電子ファイリング化を行うことを想定し、ファイリング機能を有していること。
異動業務	届出書 (開栓、閉栓、名義変更等)	71	スケジュール画面の予約状況を確認しながら異動届(詳細内容)を印刷できること。 ※使用開始届、使用中止届、使用者・口座等変更届
		72	前回の水道の止水方法、前回指針、ガス情報、下水道情報などについても印刷できること。
	受付(予約)	73	同一施設内で「複数受付」に対応していること。
		74	開栓受付時にメーターが検定満期を超過している場合は、注意情報を表示できること。
		75	申込者情報、使用者との関係、連絡事項を登録できること。
		76	開栓受付時に作業員への連絡事項(検針端末へ表示)も同時に予約登録できること。
		77	受付画面上で方書・部屋番号や水道・下水道・ガスの用途などの各種設定情報も同時に登録できること。
		78	名義変更時は使用者口座変更だけでなく、所有者情報・管理人情報も同時に登録できること。
		79	名義変更受付画面は、前使用者情報と新使用者情報を同一画面内で比較できること。
		80	口座登録・変更時は、過去使用経緯のある口座情報を一覧から選択するだけで引継ぐことができること。
		81	名義変更(閉栓時を含む)時に、過去使用者の未納分を引継ぐ設定を同時に登録できること。 ※親の債権を子が引継ぐ場合などに使用することを想定。
		82	閉栓方法(止水栓止・バルブ止・キャップ止等)を設定できること。
		83	特記事項(特殊工具・オートロック・不凍栓等)を設定できること。
		84	同じ使用者が再開栓する場合は、前使用者情報を全て複写できること。
	確定処理	85	前回検針時の請求を持って閉栓とする場合は、調定計上しないで閉栓確定処理できること。
		86	閉栓日・閉栓指針入力時に精算分の料金計算結果を画面上に表示できること。
		87	閉栓時に現地で領収した場合など、閉栓の確定指針入力と同時に領収情報も登録できること。
		88	開栓・閉栓・名義変更は、異動入力画面上で現在表示中の施設のみ個別更新できること。
		89	異動確定の一括処理は、開栓・閉栓・名義変更ごとに条件を指定のうえ画面一覧表示を行い、選択中データの編集画面を連動起動しながら確定指針を入力できること。
		90	異動確定処理は、開栓・閉栓・名義変更ごとに条件を指定のうえ画面一覧表示を行い、完了チェックを行った分のみを対象に一括更新できること。
検針業務	検針データ作成	91	納付書発行日・口座引落日・納期限日は、スケジュール登録されている設定値を選択できること。
		92	検針票に印刷する「使用者通知用文言」を任意設定できること。
		93	指定した開栓日以降の受付分は「検針しない」設定ができ、次月より開栓対象にできること。
		94	指定した閉栓日以前の受付分は「検針しない」設定ができ、検針不要分を除外できること。
		95	作成条件は、全件(閉栓分を含む)、開栓のみ(閉栓・給水停止中を除く※ガスは供給停止中を除く)、開栓・停止(給水停止中のみ含む※ガスは供給停止中のみ含む)に対応できること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書

業 務	分 類	項番	要求仕様
	検針データ取込み	96	検針データの送受信は、通信環境が悪いエリア等では任意のタイミングでも通信を行うことができること。
		97	検針結果が検針データ受信のタイミングで即座に画面上で確認できること。
	検針進捗管理	98	検針員ごとに検針状況を確認できる画面一覧を表示でき、対象・済み・未検・調査対象・完了の件数表示ができること。
		99	検針チェック結果を画面一覧に表示することで調査対象をチェックできること。 ※この時、エラー内容も画面一覧に表示されチェック一覧表を印刷しなくても対応できること。
		100	不正検針のチェック機能が実装されていること。 ※指定時間内に、何件検針したかなど確認できる仕組み
	検針順路の設定・変更	101	新規で施設登録を行う際に順路設定用画面を一覧表示のうえ順路設定ができること。
	使用量のお知らせ	102	検針票の郵送版(使用量のお知らせ)に対応できること。
		103	使用量のお知らせは、検針票の未発行分のみ抽出できること。
		104	個別指定にも対応できること。
		105	過去分の使用量のお知らせの再発行に対応できること。
	検針実績表	106	検針員ごとに検針結果を確認できること。
	検針チェックリスト	107	過去の使用実績が表示されている「再検針用」の帳票が印刷できること。
		108	検針時のエラー結果を抽出できること。
	メーターチェックリスト	109	「不動メーター」に対して、指定回数以上に連続して使用水量が0m3の施設をチェックできること。
		110	「連続認定施設」に対して、指定回数以上に連続して認定している施設をチェックできること。
検針システム (スマートデバイス)	全般	111	ログイン時や一定時間(任意指定可能)を超えた場合に、必ずパスワードを入力させること。
		112	水道メーター・下水道メーター(井戸)・ガスメーターを、別々に検針できること。
		113	下水道開始時は、水道とは別に下水道用の開始時指針を管理していること。
		114	用途、口径、号数、下水道、犬の有無、メーター番号、メーター位置、検針順等の確認が可能であること。
		115	新規開栓の使用者なのか継続使用者なのかを、一目で確認できること。
		116	メーター位置(座標もしくは文言)の変更ができること。
		117	スマートデバイスのカメラ機能で、水栓(施設)の画像の保存が可能で、画像保存後、料金システムの情報画面で確認できること。
		118	検針順路ごとに、前進・後退の画面展開ができること。
		119	メーター番号・検針順路の連番・お客さま番号・電話番号等で検索ができること。
	料金計算	120	親子関係であり複数メーターの加減算が必要になる特殊施設については、どのメーターから指針を入力したとしても自動計算できること。
		121	検針期間外に親子メーターの子メーターのみが閉栓となった場合は、子メーターの閉栓時使用量が次回の親メーターの検針時に「調整水量(調整量)」として加算・減算できること。
		122	井戸併用の場合、井戸認定量を使用水量に加算した料金計算に対応できること。また、下水道使用料の加減算に対応できること。
		123	料金算定特例措置への対応ができること。1個のメーターを複数の世帯が使う場合、設置されているメーター口径以外の口径で料金呈する場合など。
		124	ガスの原料費調整単価をシステムに登録できること。
		125	認定処理は、固定・加算・減算・水量比較に対応できること。
	異常判断／認定処理	126	異常使用量の判定は、用途・口径、用途・号数単位に増量・減量を10段階まで設定できること。
		127	共同住宅の親メーターと各戸メーターの差水量が使用公差を超える場合には異常水量と判断すること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書			
業 務	分 類	項番	要求仕様
		128	異常使用量が発生した場合、異常水量の理由が選択できること。
		129	料金計算結果に明らかな異常が認められる場合等には検針票の請求額の表示を任意の単語に変更してを印字できること。
		130	過去の指針、使用量、料金を確認できること。
		131	冬期間の認定の精算において、使用量での精算ができること。
		132	指針入力時のチェック機能として、メーター交換・メーター回転の判断ができること。
	連絡事項・メモ機能	133	検針員からお客さまへ連絡するためのメッセージが選択でき、且つ選択した連絡事項が検針票に印字されること。
		134	検針員から事務局へのメッセージが選択でき、検針時に注意情報(犬・ハチの巣等)も選択できること。
	検針票	135	検針票は、指定様式のレイアウトに変更できること。
		136	一枚の検針票に、水道、下水道、ガスの料金内訳をそれぞれ印字を行い、合算した請求予定金額が印字できること。
		137	検針票にガスの当月分と翌月分の原料費調整単価を印字できること。
		138	検針票に前々月調定で発生したガスの遅収加算金を合わせて印字できること。
		139	親施設だけでなく、子施設の検針結果についても検針票を印字できること。
	検針順序変更	140	スマートデバイス上で、検針員が自ら検針順序を変更できること。
		141	検針順序の画面一覧表示を行い、前後の水栓(施設)を確認しながら変更できること。
	バックアップ	142	通信エリア外の検針データは、スマートデバイス本体以外に「メモリーカード」にもバックアップできること。データは必ず暗号化されており、盗難等における個人情報漏洩対策ができていないこと。
現地精算・滞納 集金システム (スマートデ バイス)		143	料金システムの閉栓受付情報をもとにスマートデバイスで閉栓時の指針等の情報入力により、料金計算を行い、料金システムで閉栓した情報がリアルタイムに確認できること。
		144	閉栓時の精算金額について、入金された場合は、入金処理と領収書の印刷ができること。
		145	閉栓時の精算金額の他に、未納や滞納があった場合は、あわせて入金処理を行い、領収書が印刷できること。
		146	料金システムの滞納整理予定の情報をもとに、スマートデバイスで集金ができ、集金の情報は料金システムでリアルタイムで確認できること。
		147	滞納整理時に、面会者や対応内容、次回の対応予定情報の入力ができ、料金システムでリアルタイムで確認できること。
		148	訪問時、不在の場合は、訪問メモを印字できること。
開栓システム (スマートデ バイス)		149	料金システムの開栓受付情報をもとにスマートデバイスで開栓時の指針等の情報入力でき、料金システムで開栓した情報がリアルタイムに確認できること。
調定業務	下水道認定施設	150	検針を行わない下水道の「認定対象データ」を一括作成できること。
	ガス料金	151	ガス遅収加算金制度に対応していること。
		152	遅収加算金は、翌々月請求と合わせて請求できること。
		153	早収料金は、原料費調整単価を加味した料金算定に対応していること。
	定例調定処理	154	調定を計上する請求月を指定でき、一括・個別更新に対応できること。
		155	当初調定データは、調定更正の増減に影響されない当初計上額を確保できること。 ※調定更正データ作成時点で、当初計上額が不明になるようなことが発生しないこと。
	調定更正処理	156	当初調定に対して、調定更正の増減額を履歴管理できること。
		157	調定更正履歴は、全て確認できること。
		158	調定更正入力は、使用水量、使用量または汚水量を入力後に調定額が自動で再計算できること。
		159	調定更正履歴は、もし誤って登録した場合でも最終の更正履歴からであれば随時削除することができること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書

業 務	分 類	項番	要求仕様
		160	調定更正時にその経緯等を実績メモに入力できること。
		161	調定更正理由は、入力画面から追加・編集用画面を起動できること。
		162	指針等の修正漏れ等、本来調定前に修正すべきだったが調定計上後に修正漏れが分かった場合は、調定更正履歴を作成しない修正登録にも対応できること。
		163	調定更正時に請求保留設定も同時にできること。
	調定月の実績情報	164	調定履歴の詳細データを実績情報として管理できること。
		165	調定漏れが発生した場合、過去に遡及した調定の実績を作成できること。なお、何年遡ったとしても調定の計上日は、遡及して調定を計上した現在日で登録ができること。
		166	水道が既に開栓中の施設で下水道の賦課漏れが発生した場合でも、下水道情報のみ過去に遡及した調定の実績を作成できること。なお水道の調定計上日とは別に下水道の調定計上日を管理することができること。
	調定簿	167	毎月、1日～月末までの当初調定分(更正額に影響しない)を出力できること。
		168	指定した「調定現在日」時点の調定累計額(更正額を含む)を出力できること。
		169	明細表(個人単位)、総括表(集計区分単位)に対応できること。
	調定更正簿	170	毎月、1日～月末までの調定更正増減額(当初調定額を除く)を出力できること。
		171	会計処理のため、内訳を「現年度」「過年度」ごとに「未収入、収入済、合計」に集計項目を分けて出力できること。
		172	明細表は、日付ごとに使用者名、調定年月、更正額等が一覧表示できること。
	調定チェックリスト	173	水道・下水道・ガスともに、以下の項目のチェックができること。 ・賦課漏れの疑い(現在使用中で調定が存在しない施設) ・複数調定(同一施設、同一調定年月で複数計上) ・金額情報(調定額と請求額が相違等)
	親子メータ差水リスト	174	親メーターと子メーターの差水チェック用リストが出力できること。
請求業務	口座振替	175	定例の口座振替と再振替、誓約分口座振替に対応できること。
		176	未納月の引落日を変更するだけで、定例分と同時振替ができること。
		177	再振替では、引落し可能な不納理由のみを対象にできること。
	納入通知書	178	納入通知書はコンビニ収納に対応していること。
		179	納入通知書は水道、下水道、ガスを合算して1枚で請求できること。
		180	同一債権者の使用する複数水栓分を1枚の納付書にまとめて請求できること。また、複数水栓(施設)の明細表も連続印刷できること。
		181	30万円以上の請求でも納入通知書にバーコードを印字できること。その場合、コンビニ等で支払いできない旨等の文言を印字できること。
	督促状	182	督促状は、コンビニ収納に対応していること。
	口座振替送付表	183	単票形式で、送付件数・振替不納件数・振替済合計件数を表示できること。
		184	一覧表形式で、金融機関または支店別に集計結果を表示できること。
	口座振替依頼書	185	金融機関ごとに口座情報及び金額を一覧表示できること。
		186	一覧にはお客さま番号や誓約番号も併せて表示できること。
		187	個別指定もできること。
	請求保留	188	保留区分(一時保留、請求不可、徴収停止)ごとに理由を設定できること。
		189	請求保留後に保留区分や保留理由ごとに請求保留対象者を抽出できること。
		190	請求保留範囲(全請求、督促以降、催告以降、給水停止(供給停止)以降)を設定できること。
		191	入力画面では、請求保留日・保留区分・保留範囲を指定後に対象月に対して個別・一括設定できること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書

業 務	分 類	項番	要求仕様
	請求保留／未請求一覧表	192	請求保留対象と未請求状況を把握できる帳票を出力できること。
	請求書引抜きリスト	193	納付書、督促状、分納納付書等、請求に関する帳票について、印刷から発送までに請求額が変更となった対象リストを出力できること。
収納業務	収納業務	194	バーコードタッチスキャナ、バーコードシートリーダー等により納付書を連続読取りできること。
		195	読み込み結果を画面一覧で1件づつ追加されていることが確認できること。なお画面一覧には、請求年月、収納額、分納誓約の回数、分納誓約の収納額が表示できること。
		196	バーコード等の読取り不良時には、手入力にも対応していること。
		197	コンビ二収納データの取込み後、件数(速報、確報、速報取消)、金額(速報、確報、速報取消)が確認できる帳票が出力できること。
		198	コンビ二収納データに対して、過誤納等のエラーチェックリストが出力できること。
		199	コンビ二速報データの取り込みを行うことで仮収納状態となり、以降の請求関連帳票の出力対象外となること。
		200	窓口にあるPOSレジで納入通知書に印字されているバーコードを読み込み、レジ画面で収納処理が行えること。
		201	POSレジで収納処理したデータをシステムで取込処理が行い、入金情報として反映できること。
		202	現在取り扱いを行っているキャッシュレス決済(PayPay等)による収納処理ができること。
	収納日報	203	日計表の合計と消し込み結果の確認用帳票が出力できること。
		204	集計単位は、調定年月、収納区分、収納方法、収納日別に対応していること。
		205	明細表(個人単位)、総括表(集計結果)に対応できること。
	口座振替データ読込	206	読み込み後、画面上に振替依頼件数・振替済件数・振替不納件数・金額が表示でき、更新前に事前確認ができること。
	納入証明書	207	納入証明書は、上下水道ガス、水道のみ、下水道のみ、ガスのみでも出力できること。
	口座振替済通知書	208	再発行は、個別指定できること。
	収納簿 (収納確認用)	209	調定年月ごとの集計結果を出力できること。
		210	集計件数と金額の表示は、調定年月ごとに集計を行い年度ごとの小計、最終行に総合計が表示されていること。
		211	下記に示すような集計単位に基づき、1回の抽出で帳票を出力できること。なお、収納日ごとに小計が表示され、指定された収納日の範囲内における合計も表示できること。 < 集計単位 > ・〇〇銀行 ・〇〇信用金庫 ・ゆうちょ銀行 ・納付書(窓口) ・セブンイレブン ・ローソン ・ファミリーマート ・PayPay ・LINE pay ・PayB 等
	収納日計表 (会計伝票用)	212	会計処理用に会計単位で、収納日ごとに現年度・過年度別に収納件数・金額を出力できること。
		213	簿外資産分のみを出力することもできること。
	収納状況調書 (調定／収納／未納確認 用)	214	指定日の収納状況を出力できること。
		215	指定した日付時点に遡った「調定、収納、充当、還付、過誤納、未納」の集計結果は、どの施設の誰が該当していたのかを内訳明細として出力できること。
		216	内訳明細は、出力したい項目を任意指定できること。
		217	調定年月単位に明細を出力でき、年度ごとに合計が表示されていること。また最終行には総合計も表示されること。
		218	定例分と精算分を任意指定できること。
		219	簿外資産を含まない集計をするかどうかを任意指定できること。
	過誤納リスト	220	過誤納額について、現在は充当／還付済みであっても、発生した時点の日付・過誤納額を出力できること。また、指定した期間の過誤納リストを出力できること。
		221	調定年月の範囲指定ができること。
		222	調定減、二重収納ごとに集計結果を出力でき、現年度分と過年度分の件数・金額の合計を出力できること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書

業 務	分 類	項番	要求仕様
		223	調定減分を出力した場合、調定更正日、調定更正理由が表示されていること。
		224	二重収納を出力した場合、収納日、収納方法が表示されていること。
	未収簿 (指定日付時点の未納者一覧)	225	未納残高日を指定し、過去に遡った集計ができること。
		226	指定した期間の未収簿を現年度過年度で出力できること。
		227	未納残高日時点において、会計上に未収金計上されていた対象者の内訳明細表を出力できること。
		228	調定年月別に総括表を出力できること。
		229	簿外資産を含まない集計をするかどうかを任意指定できること。
	領収日／収納日一括変換	230	錯誤した場合等、領収日、収納日を一括で修正できること。
		231	画面一覧へ表示する際は、日付、収納方法等が指定でき変換対象データを絞り込めること。
充当／還付処理	充当／還付入力	232	充当入力は、充当額、充当理由、充当先(古い未納より充当、充当先の調定月を指定し、水道、下水道、ガスに区別して入力)の入力ができること。また、過誤納に残額がある場合は、還付入力も同時に登録できること。
		233	還付入力については、還付額、還付理由、還付先(現金・口座振込など)の指定ができること。
		234	過誤納の未処理分を画面一覧に表示させ、入力画面を連動起動することができること。
		235	充当／還付の対象者に充当／還付通知書を発行できること。
		236	充当通知書には、充当先の複数未納月を一覧表に表示させ未納額・充当額・未納残額を把握可能な明細表を表示できること。
		237	還付通知書上に口座情報を表示する場合、口座番号をマスク処理で表示することができること。
		238	還付一覧表、充当一覧表、未処理分一覧表を出力可能であること。
		239	振込先銀行・依頼日・還付日ごとに、銀行コード・支店コード・口座情報・振込額・お客さま番号・使用者名・過誤納年月が明記された依頼書(受取書)が出力できること。
滞納業務	分納誓約入力	240	分納誓約の支払計画は、条件指定により自動作成ができること。
		241	支払計画は、金額指定・支払回数指定・未納月単位に毎月の支払額を自動設定できること。また、手入力にも対応していること。
		242	頭金を設定できること。
		243	支払間隔は、毎月・隔月を選択できること。
		244	賞与(ボーナス)などがある場合は、任意指定した月に指定額を加算できること。
		245	支払計画の自動設定で未納額に端数が出た場合は、頭金や初回・最終と加算先を指定できること。
		246	支払の開始月、支払基準日、祝祭日及び年末年始を考慮した休日が支払基準日になった場合の翌営業日等の設定に対応していること。
		247	分納誓約は、後日一括支払を行うような1回払いにも対応できること。
		248	複数債権を1つの分納誓約として締結でき代表の施設を設定のうえ管理できること。
		249	誓約対象とする未納月を設定する際は、誓約者が1件コンビニで支払った領収書を持参してきた場合など、その未納月を含めないで誓約締結ができること。
		250	口座振替にも対応でき、定例の口座振替や再振替データと同時に引落しができること。
		251	口座振替と再口座振替ができなかった場合は、振替不能日と振替不能理由を管理できること。
		252	誓約の消し込み順は、古い滞納を優先や複数債権の場合は誓約対象施設として設定した順番にするかを任意指定できること。
		253	分納誓約用の送付先情報を設定できること。
		254	滞納者と誓約時に計画した納入計画がメモに登録できること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書

業 務	分 類	項番	要求仕様
		255	誓約状況は、誓約中、完了が画面上で判断できるよう工夫されていること。
		256	誓約解除した場合は、解除日、解除理由が登録できること。
		257	誓約情報は、履歴管理ができ、前誓約・後誓約と全て参照できること。
		258	誓約の履歴管理は、最低10履歴以上対応できること。
	分納誓約書	259	締結した分納誓約書は発行日を指定して出力できること。
		260	決裁欄が出力でき、押印欄に役職名を表示でき役職名を職員が変更できること。
		261	誓約者氏名を印字する／しないを設定できること。
		262	誓約書には複数債権で締結した場合は、複数債権施設分のお客さま番号、使用者名、住所、誓約未納の範囲、金額が表示できること。
		263	納付計画の一覧には、誓約対象の請求月、支払計画、収納状況(手書チェック欄)が表示されていること。
	分納納付書	264	コンビ二収納に対応していること。
	誓約者一覧表	265	誓約者の状況を把握可能な誓約者一覧表が出力できること。
		266	誓約中、完了分を分けて出力できること。
		267	現在使用中の誓約と休止中や過去分に対する誓約を区別して出力できること。
		268	誓約日、納入期限日の範囲指定ができること。
		269	一覧表には、支払回数・金額、納入済件数・納入済金額、残未納件数・残未納金額、滞納者と誓約締結時に計画した納入計画(メモ)を確認できること。
	誓約不履行管理	270	誓約締結後、誓約納期を超過している滞納者を不履行者として管理できること。
		271	誓約締結後、新たに請求月を滞納している滞納者を不履行者として管理できること。
	誓約収納対応	272	誓約に対する収納は、内訳明細(水道・下水道・ガス)を管理できること。
		273	収納履歴のメンテナンス画面は、支払回数の金額に対して未納月の水道・下水道・ガスのどの科目にいくら配分されているか把握できる画面構成になっていること。
	滞納整理の対象者抽出	274	調定年月、納入期限日、住所の範囲指定ができること。
		275	定例分、精算分を任意指定できること。
		276	滞納整理の計画区域(別設定)を任意指定できること。
		277	債権者の個別指定ができること。
		278	アパート、マンション名など方書を任意指定ができること。
		279	指定日付以降に入金がないものを指定できること。
		280	ガス・水道料金に1円でも未納が残存するデータのみ抽出できること。
		281	下水道使用料だけに未納が残存するデータだけ抽出できること。
		282	請求保留になっているものを除外できること。
		283	誓約後に新たに計上された請求月が、納入期限日を超過したものについても不履行と判断し件数・金額を任意指定できること。
	給水停止(供給停止)の進捗管理	284	滞納整理の対象者データは、滞納整理の進捗管理を可能にする画面においてその進捗確認をシステム内で管理できること。
		285	データ化された対象者に対して、入金・約束があった場合、画面一覧上で入金・約束等により対象者を絞り込みながら進捗を管理できること。
		286	対象者の進捗管理を行うために、最新の状況が把握できる区分等により「約束手中」「給水停止予告中」などその状況設定ができること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書			
業 務	分 類	項番	要求仕様
		287	「全額支払い」「一部入金」「支払約束」などにより、給水停止の対象者ではなくなったことを状況設定上で判断できること。
		288	最新の状況設定情報は、問合せ画面や窓口領収画面で情報共有できること。
統計資料作成	月次・年次等統計資料出力	289	調定年月の範囲指定により以下の統計表が出力できること。 統計表の種類 (1)水道口径別調定集計表 (2)水道用途別調定集計表 (3)水道水系別調定集計表 (4)水道口径別使用量段階別集計表 (5)水道用途別使用量段階別集計表 (6)水道水系別使用量段階別集計表 (7)水道大口使用者一覧表 (8)下水道用途別調定集計表 (9)下水道排水区域別調定集計表 (10)下水道用途別使用量段階別集計表 (11)下水道排水区域使用量段階別集計表 (12)下水道大口使用者一覧表 (13)ガス用途別調定集計表 (14)ガス号数別調定集計表 (15)ガス供給区域別調定集計表 (16)ガス用途別使用量段階別集計表 (17)ガス号数別使用量段階別集計表 (18)ガス供給区域別使用量段階別集計表 (19)ガス大口使用者一覧表
		290	水道を指定した場合、用途・地区・口径の集計区分に対して、用途別に口径ごとの集計や地区別に用途ごとの集計など任意の組み合わせによる集計結果を出力できること。
		291	下水道を指定した場合、用途・地区・排水区域・事業区域の集計区分に対して、用途別に口径ごとの集計や地区別に用途ごとの集計など任意の組み合わせによる集計結果を出力できること。
		292	ガスを指定した場合、料金契約区分に対して、用途・地区・号数・供給区域の集計など任意の組み合わせによる集計結果を出力できること。
メーター交換業務	満期取替予定表	293	メーター交換予定対象者を検定満期で範囲指定し、施設の状態(取付・使用・休止・停止)を任意指定して一覧表に出力ができること。
		294	メーター交換予定対象者を、口径別(号数別)・住所別・検針地区ごとに一覧出力できること。
	メーター交換伝票	295	メーター交換伝票は、単票形式、一覧表形式で出力できること。 単票形式には、メーター位置情報が表示されていること。
		296	メーター交換の対象施設をExcel出力できること。
		297	Excel上には、メーターの交換前情報と交換情報の入力欄が事前に出力されていること。また、指定工事店ごとにExcelファイルを分けた管理もできること。
	メーター交換のお知らせ	298	メーター交換のお知らせを出力できること。なお、交換予定日(日付の範囲)、発行日を指定できること。
		299	Excelの交換予定施設を対象に出力できること。印字する情報はシステムの最新データを印刷できること。
	交換結果の入力・取込み	300	メーター交換の結果入力は、手入力、Excelデータ取込のいずれかで対応できること。
		301	検定満期の入力に関しては、西暦で入力できること。 なお、和暦と西暦の両方を確認できること。
	交換結果の確定更新前チェック	302	メーター交換の結果を手入力又はExcelデータ取込後に、不正データがないかどうかを様々な条件で事前チェックできること。(指針、交換水量、メーター番号の重複等の妥当性チェック)
水栓施設情報	新設時の施設登録	303	お客さま番号を自動採番できること。
		304	新規施設の登録は、住所情報を入力すれば使用者情報を入力しなくても登録できること。
		305	住所は住所マスタより選択でき、カナ検索や旧市町村等、区域ごとに絞込みができること。
		306	アパート、マンション名などの方書は、方書マスタより選択できカナ検索により絞込みができること。
		307	複写機能により新規入力ができること。
下水道情報	下水道開始入力	308	水道のみ使用中の施設に下水道を開始するための入力処理ができること。
		309	水道の検針日、指針を参照しながら下水道の開始日、開始時指針を入力できること。
		310	水道の各種設定情報を参照しながら各種下水道情報を設定できること。
	下水道未接続一覧	311	下水道が未接続の施設を対象に一覧表を出力できること。
		312	未接続の施設の内、供用開始しているがまだ未接続である施設を出力できること。
		313	水道の施設状態が、使用・休止・停止・撤去・廃止を任意設定により組み合わせで出力できること。
	下水道認定施設一覧	314	下水道使用料を認定で算定する対象施設の一覧表を出力できること。
		315	固定認定・加算認定・減算認定・水量比較が設定されている対象施設を出力できること。

上下水道ガス料金システム構築業務委託 特記仕様書			
業 務	分 類	項番	要求仕様
年度末業務	不納欠損処理／徴収停止 (旧民法の規定に基づく処理)	316	農集排区分、農集排区域ごとに絞込みができること。
		317	下水道の施設状態が、接続・使用・休止・停止・撤去・廃止を任意設定により組み合わせで出力できること。
		318	会計ごとにそれぞれ不納欠損／徴収停止処理が行えること。
		319	時効日・調定年月・納入期限日・請求保留中のデータ・指定日付以降入金のないデータで抽出できること。
		320	不納欠損確定データに対して、不納欠損日・時効日・調定年月で抽出できること。
		321	債権者の個別指定ができること。
		322	データを抽出後、対象範囲の設定ができデータを一時保存できること。
		323	不納欠損／徴収停止の取消処理ができること。
		324	不納欠損／徴収停止の処理結果の一覧表(明細表、総括表)を出力できること。
		325	不納欠損一覧表は、不納欠損日・調定年月・不納欠損理由で絞込み抽出ができること。
		326	徴収停止一覧表は、債権放棄日・調定年月・債権放棄理由で絞込み抽出ができること。
		327	明細表は債権者ごとに明細出力ができること。
		328	総括表は不納欠損／徴収停止日別・未納年月別に件数・各種金額が確認できること。
	簿外資産管理	329	不納欠損確定後の収納データを簿外資産管理できること。
		330	収納帳票では簿外資産分を切り分けて出力できること。
GIS連携	全般	331	料金システムより、GISへのデータ出力(CSV)ができること。
料金・会計連携 処理	その他	332	調定、収納のデータを出力し、企業会計システムへ連携処理ができること。
		333	会計データ連動を行った結果を画面一覧で確認できること。
		334	科目、起案日、データ作成日等で絞り込みできること。
その他	その他	335	三川町下水道使用料算定用のデータの出力ができること。
		336	現行システムから出力された納付書等の入金処理ができること。(鶴岡市・酒田市・庄内町)
		337	料金改定に対応可能であること。
		338	税率等の制度変更に対応可能であること。
サポート		339	企業団からの問合せ等に対して、訪問による直接対話の対応を回数に制限なく対応できること。
		340	企業団からの問合せ等に対して、担当のサポート担当者が不在でも、他の料金システムの担当者による即時の対応ができること。
		341	日常に発生する業務におけるさまざまな疑問点・問題点の解決ができること。